



SVR-41Niはセキュリティカメラ用途に特化したSONY SUPER HAD41万画素(有効画素38万)CCD ICX638AKAを採用したボタン&ネジ型のカモフラージュタイプのカメラです。

前モデルの1/4インチに対し1/3インチCCDを採用することで、解像度アップ(450TV本→520TV本)、より暗い場所に強く(3ルクス→0.1ルクス)なっています。

PoliceBook・MA100・CVR-41の画像/音声入力用カメラとして使えるほか、一般的なCCDカメラ同様の使い方もできます。

レンズを隠すカバーは5つ付属します。4つ穴ボタン大、4つ穴ボタン中、4つ穴ボタン小、プラスネジ黒、プラスネジジュニコロメートの5種類で、このカバーがなくても使うことができます。

カバーはねじ込まれているだけで、左に回して簡単に外すことができます。ネジ型レンズカバーを使用する際に、わずかにケラレとハレーションが発生しますが、不良ではありません。

存在を目立たなくするダミーボタン、ダミーネジも

付属しています。

レンズの画角は実測66.7度(190cm離れた位置で250cmの範囲)です。

### 各種使い方

PoliceBook/CVR-41などと組み合わせて使う場合はカメラ&マイク本体のみを使用します。カメラ電源はPoliceBook/CVR-41から供給されます。

一般CCDカメラとして使う場合は、付属分岐ケーブルを接続し、映像・音声出力をビデオ機器に接続、電源入力(φ2.1mmセンタープラス)に電源を接続します。

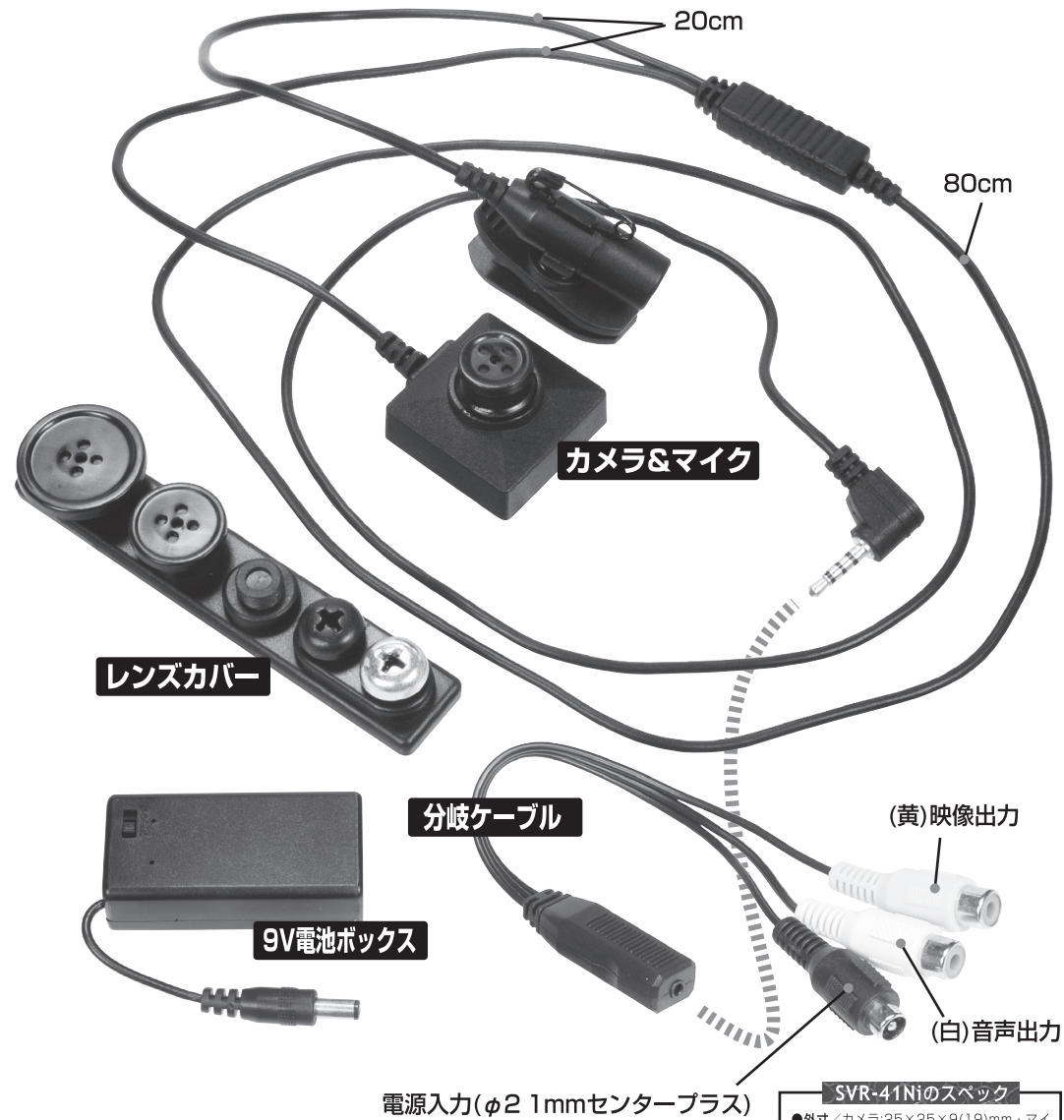
付属9V電池ボックスの電池寿命はアルカリ電池で1時間30分程度(TOSHIBA9V電池での実測)です。より長時間の

使用の場合は単3電池×6の電池ボックスを使用します。この場合連続11時間20分(アルカリ電池)の電池寿命です。

ただし、この場合、電池ボックスが重く大きくなったことへの注意が必要です。置いて使う場合は心配はありませんが、ポータブルで使用する時、線のおりまげなどで電池ボックスに接続する側の線の内部被膜が破損し、ショートする事例が報告されています。このとき、電池が発熱し、ボックスの金属端子接触部分が変形するわけです。特にニッケル水素電池を使用したときは、瞬間電流が大きいため被膜が発火する危険性もあります。電池の異常発熱を感じたらただちに電池を外してください。単3電池×6の電池ボックスは使用者の責任の元にお使いください。

監視カメラなどの固定カメラとして使う場合は、付属ACアダプター(9V出力・φ2.1mmセンタープラス)を使うことになります。

分岐ケーブルを組み合わせた状態のSVR-41Niは一応9~12V対応ですが、発熱の問題が出る場合があります。12V電源の使用は短時間の緊急用とし、長時間使用には9V電源での使用をおすすめします。



### SVR-41Niのスペック

- 外寸/カメラ:25×25×9(19)mm・マイクφ10×35mm(クリップおよび安全ピン含まず)・電池ボックス:33×69×22mm・分岐ケーブル:全長21cm●重量/カメラ&マイク:22g・分岐コード:18g・電池ボックス:69g(アルカリ電池含む)●電源・電池寿命・消費電流/付属9V電池ボックスまたは9VACアダプター(付属):1時間30分(アルカリ電池):140mA●CCD/SONY SUPER HAD 1/3インチ41万画素(有効画素数38万)●解像度/520TV本●最低照度/0.1ルクス(F2.0レンズ時)●S/N比/45dB以上●電子シャッター/1/60~1/100,000秒●レンズ系/f4.3mmF1.8●画角/実測66.7度(190cm離れた位置で250cm)●製品構成/カメラ&レンズ・分岐コード・9V電池ボックス・9VACアダプター・未加工なべネジおよびナットセット(黒およびメッキ)・未加工ボタン(大)・未加工ボタン(中)・未加工ボタン(小)加工用レンズブラケット&両面テープ